

読書ボランティア紹介

エフロンおばさん（松川学習センター）

子ども読書推進のために

エフロンおばさん（福島市）

2月4日（木）訪問

登録人数

6名（H28.2現在）

創設年月

平成14年

活動場所

福島市松川学習センター、保育所、幼稚園、小学校
放課後児童クラブ、放課後子ども教室、高齢者施設

活動内容

よみきかせ、紙芝居、わらべうた、工作、手遊び
ペープサート、パネルシアター、ブックトーク

表彰関係

感謝状（福島市社会福祉協議会）



登録人数が6名と少人数の団体ですが、多くの活動機会に恵まれています。2日連続での活動や、小学校で朝読をした後幼稚園に移動してよみきかせをするなど、同じ日に続けて活動することもあります。対象となる構成年齢が幼児から高齢者までと幅広く、また割り当ての時間が10分から60分と活動内容により異なるため、事前に団体内で打合せを行い選書や読み合わせを行っています。さらには他のサークルやボランティア団体に所属している人も多く、メンバーの個々が多岐にわたり活躍しています。ご苦労も多い状況ではありますが、ボランティアさんは一つ一つを楽しい、やりがいがあると感じながら活動しています。

活動の実際

訪問当日は「おひざにだっこのおはなしかい」が行われていました。始まる前ボランティアさんは会場の雰囲気作りに努められ、初めて参加する幼児も打ち解けることができていました。また布絵本も紹介され、乳児はその触り心地を楽しんでいました。プログラムは、1.わらべうた、2.紙芝居、3.ペープサート、4.よみきかせ、5.わらべうた、6.パネルシアター、7.工作、8.わらべうたでした。よみきかせやパネルシアターにおいては、参加者の反応に合わせて表情豊かに語りかけるように話しているのがとても印象的でした。これまで培われた経験がボランティアさんの自信となり、余裕を持って取り組まれているからこそだと感じました。工作は牛乳パックとペットボトルのキャップを利用したコマ作りでしたが、あらかじめ形になっており、参加者はシールを貼るなど模様付けを行いました。簡単な工作でしたが幼児はとても楽しんでおり、親子で一緒に作業する良さ、ものづくりの良さを感じました。図書室内にある工作の本を手にするきっかけ作りにもなっているようです。

